

明野通信

(題字：古川明德校長 筆)

大分工業高等専門学校広報

第 123 号

2017年2月17日

大分市大字牧1666

TEL(097) 552-6075

http://www.oita-ct.ac.jp/

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト

2016九州沖縄地区大会(優勝) (2016年10月9日(日)「まきぞのアリーナ」(鹿児島県霧島市))

大分Aチーム ロボット名「極雅(キョウカ)
準々決勝(3回戦)の模様



大会終了後の集合写真

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト

2016全国大会(準優勝) (2016年11月20日(日)「両国国技館」(東京都墨田区))

大分高専 ロボット名「烈覇(レツパ)
全国大会準優勝



試合直前のロボットの動作チェック

※記事の詳細は15頁参照

目次

巻頭言	2	都市・環境工学科通信	13
主事室便り	3	専攻科通信	14
卒業おめでとう	4	各種報告	15
専攻科修了おめでとう	8	学生会便り	16
退職者及び新任職員挨拶	9	寮生会便り	18
機械工学科通信	10	留学生通信	19
電気電子工学科通信	11	卒業生の進路	20
情報工学科通信	12		

巻頭言「今、何をすべきか」を忘れることなく 校長 古川明德



平成29年が明けて早2か月、皆様におかれましては爽やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私が校長として大分高専に参りまして5年目の正月を迎えました。それで私の着任と共に本科に入学した学生諸君も、ほとんどの諸君は今春、めでたく卒業され、4月からはそれぞれ、就職して進学にと、別の道を歩まれることとなります。私は校長5年生ですが、取得すべき履修単位を残しておりますのでもう少し留まって校長を務めさせていただきます。本科を卒業され、または専攻科を修了される皆さん、どうぞ、夢と希望を持って、それぞれの場所で精進され、次のステップへと大きく飛躍されることを望んで止みません。本当におめでとうございます。皆様のご活躍を期待しています。頑張ってください。

今春ご卒業または修了される諸君に、いつも同じ言葉になりますが、激励の言葉を贈ります。皆さんの「夢・希望」は何ですか。年齢は何もしなくても1年毎に増えていきますが、「夢」は何もしないでは達成できません。

昨年夏のリオ・オリンピックで、我が国は過去最高のメダル数を獲得することができました。選手の皆さんは、輝かしいメダルの獲得を目指して日々努力を重ね、競技にのぞまれました。そこには夢が叶わなかった選手もおられました。これまでの厳しい練習と精一杯の競技には数々の感動とドラマが生まれ、皆さん

とともに涙し賞賛の拍手を捧げました。皆さんもこれからの前途ある人生に、輝かしいドラマを描いて欲しいと願うものであります。選手と違って私共は、何も力む必要はありません。単純に「健康な体をつくって長生きする」でも構いません、それでも達成することはそう容易なことではありませんので。とにかく、日々の生活の中でも「夢・希望」を持ち、常に「何をすべきか」を忘れること無く過ごして頂ければと思います。

それから皆さんにお願いしたいことをもう一つ。それは「楽しく生きる」ことでもあります。皆さんはこれまで恵まれた環境の中、何のトラブルもなく過ごして来られたのではないのでしょうか。しかしこれからの人生、山あり谷ありですので失敗もあり、辛い状況に陥ることもあります。そんなとき、気持ちの持ち様ひとつで次の一歩が異なってくるものです。どんなに苦しく辛い局面でも、「何で私・・・」と考えればますます暗くなるでしょうが「これを乗り越えれば・・・」、「この人のためには・・・」、「誰それが待ち望んで・・・」とやり甲斐を考えて行動すれば光明が射してくるものと信じております。悲観と愚痴は、若き皆さんには似合いません。どうぞ笑顔溢れる若者であってください。

さて話は大きく変わりますが、我が国の高等教育の現場における大分高専の立ち位置について思っていますことを述べさせていただきます。

今、高専では、協働共有化として、全国に共通したカリキュラム(モデルコアカリキュラム)の導入や情報の一元管理が進められる一方、研究拠点校やモデル校など個々の高専の特色の鮮明化が求められております。大分高専は、そのようななか、全国51国立高専の中に埋没せず、特色ある高専として存続させるにはどうあればよいかを意識した年度計画を持ち、推進・発展させねばなりません。

もちろん、高専の使命の第一は教育であり、少子化傾向で毎年受験生人口が減少するなか、大分県下でも優秀な学生諸君から例年1.8倍前後の高い倍率で志願を戴いておりますので、その期待と社会の要望に応えるべく、教育目的に「人間性に溢れ国際感覚を備え、探求心、創造性、表現能力を有する実践的技術者を育成する」を掲げて、全教職員が協力して指導にあたっています。今春ご卒業・修了される皆さんは、それを実感して頂いていられるでしょうか。

つぎに研究そして地域連携に関して申せば「この先生にこの研究あり」ではなく「大分高専にこの研究あり」と認識される高専になりたいと願っております。地方創生が叫ばれています昨今、「大分高専のお陰で県内の人口減少が止まり産業も盛んになった」と言われるためにはどうしたらよいかと知恵を絞っております。大分県が謳う「安全・安心・活力」に沿った〈1〉防災・セキュリティの推進、エネルギーの持続地帯と言われる大分県での〈2〉低炭素・省エネルギー化、そして前報にも書きました農業の輸出産業化に向けた〈3〉農工連携、を3本柱に掲げて研究と地域連携を展開することではいかがでしょうか。皆様方からのご意見をお待ち致します。

そして、これは以前にも書きましたが、機械と電気電子の2学科は進化する文明社会の基盤を支える工学として、情報工学科は、社会に革新をもたらすICTの技術開発の先端をいく工学として、そして都市・環境工学科は大分県の環境とインフラ整備をリードする工学として、人材輩出と技術貢献ができれば大分高専は不滅と考えます。

今年、平成29年は「感じる高専」を念頭に置き、私共は高専活動を展開したいと考えています。常に世の中や社会の流れを感じ取り、そして、皆様に感動を与える高専となることに努めてまいります。

主 事 室 便 り



卒業・修了おめでとう！

教務主事 高橋 徹

卒業生のみなさん、専攻科修了生のみなさん、大分高専卒業、専攻科修了、まことにおめでとうございます。教職員一同、皆様の卒業・修了を心より祝福いたします。お一人お一人が我々の誇りであると感じております。保護者の皆様にも心からのお祝いとお慶びを申し上げます。

皆さんには将来技術者として活躍していくための基礎力、知識と実践力の基礎・土台が十分に身につけていますので、心の芯に自信を強く持ていただきたいと願います。もちろん現実社会では、わからないことだらけで日々勉強となると思いますが、前に進んでいくためのコアは培われているはず。たぶん、それは実社会に出てじわじわと実感できるであろうことだと思います。進学されてさらに勉強を進める皆さんにも、自身の基礎力にビックリして実感される時がくるでしょう。

ただ、その基礎力も磨かなければ、原石のまま眠ってしまうこととなります。自分を磨いていく上で力となるのは、皆さん自身が培った人間的な力であろうと思います。高専祭で友と分かち合った感動、読書で世界が広がって覚醒した喜び、実験やものづくりあるいは勉学や研究で苦労したりわくわくしたりした体験、みなさんが大切な青春時代に高専で得たこれらの様々の宝を養分として、皆さん自身が培った人間としての深み。これこそが、知・情・意を総合したパワー、大分高専流に言うところの技術と教養と愛の心を総合して一本の幹となっている皆さんひとりひとりの力であろうと思います。

皆様のご活躍とお幸せを心からお祈りしております。おめでとう！！



旅立ちの時を迎えて

学生主事 佐藤 達郎

本科卒業生・専攻科修了生の皆さん、卒業ならびに修了まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。5年間乃至7年間で真の実力を培うことができたでしょうか。就職するにせよ進学・編入学するにせよ、これからは大分高専で身に付けたものが基盤となります。実は、このことはそっくり私たち教職員にも問われます、「ちゃんと実力を付けて、卒業・修了させることができましたか」と。皆さんがこれから歩いていく道は、決して平坦な道ばかりではないでしょう、むしろ山あり谷ありの厳しい道程となる可能性の方が高いと思います。辛い時、苦しい時、高専生活で得たものが支えとなってくれることを切に願っています。皆さんの今後の活躍を期待します。

さて、この一年を振り返ってみますと、4月の熊本・大分地震で始まり、その復興もままならぬ中、7月の高専体育大会を迎えました。卓球部・テニス部男女の団体優勝、弓道部女子の準優勝、個人でも多くの学生が優秀な成績を取りました。さらに、10月のロボコン地区大会では念願の初優勝、その勢いそのままに全国大会での準優勝とクラブ活動大躍進の一年でした。来年度も、この勢いを是非とも堅持して欲しいと思います。学生会関係では、5月の球技大会、学生会総会、10月の体育祭、高専祭、11月の音楽祭と例年通り開催することができました。ご協力ありがとうございました。学生会も既に新体制で活動を開始していますので、来年度も学生会活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

新たな年度がすぐ始まります。充実した一年を送ることができるよう、準備を怠らないようにしてください。



卒業、修了おめでとう

寮主事 薬師寺輝敏

寮生35名を含む卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。4月から一人暮らしとなれば、寮で受けていたサービスが如何に恵まれていたかがわかることと思います。食事やお風呂、こみ捨て等自分でやらないといけません。部屋の鍵や窓を閉め忘れても閉めてくれる人はいません。通勤や通学に時間をとられるので早起きが必要です。朝寝坊をしても誰も起こしてくれません。病気になって動けなくなっても自分で何とかするしかありません。勉強を教えてくれたり、悩み事相談や、寂しさを紛らす相手はすぐそばにはいません。5年間または7年間の寮生活は何ものにも代え難い違いありません。そして、文字どおり同じ釜の飯を食べた友人もまた、一生の宝物となることでしょう。15歳の子供の希望を叶えるために、とても寂しい思いをしながら、家から送り出した保護者に、支えてくれた5年間、7年間のお礼を言いたいでしょう。毎日の食事を準備してくれた、そして体調を気遣ってくれた食堂のおばちゃん、優しく相談に応じてくれた寮母さん、指導員の方々、寮管理棟で色々な要求に答えてくれた事務員の方々に最後の挨拶をして旅立ってください。歴代の主事や主事補に迷惑をかけたヤンチャ坊主は、立派に成長してから、顔を見せてください。



卒業おめでとう 思い出をありがとう!!

機械工学科
5M担任 山本 通

私が高専の教員となり、初めて担当した授業（機械工作法Ⅰ）の一つが、2年生の頃の君達でした。最初は、非常勤の吉松先生が担当され、私は教室の後ろで勉強をさせてもらっていましたが、落ち着いたクラスで驚きました。外部の先生が教えてくださっているにも関わらず私語をする者も多く、非常に失礼だと感じ、少し激しい口調で注意したこともありましたが、皆さんは覚えているでしょうか？

それから1年も経たないうちに、初めて担任となったクラスが君達でした。諸君らが3年生の頃でした。他の先生からは、あのクラスは大変ですよとも言われ不安もありましたが、担任となることに楽しみな気持ちのほうが大きかったです。

実際、担任を始めると、教室が汚く毎日の教室清掃をさせるのにも苦労しました。校門で指導される者も多く、担任として恥ずかしい気持ちになりました。学業でも他のクラスとの成績差が大きく、勉強に対するモチベーションが低い者が多いように感じました。勉強を重要視しないのは個人の勝手だという気持ちもありましたが、教員という立場からどのよ

うに勉強に興味を持たせれば良いか悩むこともありましたが、大変なことも多かったですが、充実した毎日を過ごさせてもらったと考えています。特に、君達との思い出を語るうえで、外せないのが、球技大会や体育祭というスポーツイベントでしょう。3年次の球技大会・総合2位、体育祭・総合優勝に始まり、4年次には両イベントでの優勝、5年次には体育祭3連覇を達成し、獲得した賞状の数は多すぎて額にも入れられませんでした。下の写真のようにイベント時はクラスがまとまり、皆の笑顔が素晴らしいと記憶しています。実は、私が高専教員になって、是非したいと考えていたことの一つに、学生とともにスポーツを楽しむことができました。君達とは、3年次の研修旅行や、球技大会の練習、SP校生とのスポーツ交流などを通して、この夢を実現することができました。欲を言えば、もっとスポーツと一緒にしたかったという思いもありますが、楽しい思い出をありがとう。

次に、進路については、例年にないほどスムーズに希望先の企業や大学を決定することができました。もちろん売り手市場の追い風が吹いた影響もあるとは思

います。しかし、低学年の頃から学業を軽視しているようなクラス環境で多くの留年生を出すことになったにも関わらず、4年次と5年次に進級してきた君達の底力が良い結果をもたらしたのかもしれない。インターンシップも就職に向けた良い準備になったと思います。ただ、就職がゴールではなく、これからが君達の力が試される時だということも強く心に留めておいてください。

これから君達は社会人になって多くの新しい経験をするようになるでしょう。楽しいこと、うれしいことも沢山あると思いますが、辛いことや苦しいことも必ず経験することになります。その辛い時期を自分の力で乗り越える力を意識して欲しいと思います。あきらめずに前向きに壁を乗り越えてください。その先には一回り大きくなった自分がいるはずです。当然、自分自身でどうにもならないこともあるでしょう。その時は、友人、上司や学校を活用してください。人に話すことで、解決策が生まれることもあります。もちろん、うれしいこと楽しいことがあったときも学校に報告に来てください。

また社会人になっても自分なりに目標を立てて、それに向かって継続的に取り組む姿勢を大事にしてください。結果が出なくても継続することが君達の力に必ずなるはずです。

最後に、君達をこれまで育ててくれた保護者の方へ感謝の気持ちを言葉と形で示して欲しいです。社会人として立派になった君達と卒業後も会えることを楽しみにしています。卒業おめでとう!!



2014年10月16日
体育祭(3年次)
クラス対抗リレー: 1位
玉入れ: 1位
大縄跳び: 1位



2016年5月19日
球技大会(5年次)
ソフトボール: 優勝
サッカー: 優勝

卒業おめでとう!

電気電子工学科
SE担任 清武 博文

平成28年度電気電子工学科卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと共にこの日を迎えることが出来て、心から嬉しく思います。本当に、おめでとう!!

15歳から5年間の高専生活は如何でしたか? 体と心と魂を鍛えることはできたでしょうか? 特に4、5年生の2年間は濃密な時間を過ごしたかと思えます。学校行事では、球技大会、体育祭、高専祭、音楽祭はもちろんのこと、オープンキャンパス、インターンシップ、研修旅行もありました。部活動では日々の練習、高専新人戦、有終の美を飾る高専大会に打ち込んだことでしょうか。勉強では、専門性が大きく増した電気電子工学の修得も大変だったでしょうが、工学実験ⅢでのPICを用いた設計製作、デザイン実習に加え、集大成となる卒業研究に各自全力を注いだことでしょうか。さらに、進路の決定と採用試験・編入学試験がありました。どうですか、皆さん! こうして書き上げただけでも皆さんは様々なイベントや難関を無事通過して、今があるのです。「あつという間だった」と感じるでしょうが、そこには経験があり、それぞれ成功や失敗の体験があり、大きな成長があったのです。是非今一度、高専生活の思い出を振り返り、その感情を堪能して下さい。

如何ですか? あつという間ではなく、濃密な時間だったでしょ? この思いは一生の宝になりますよ。

さて、ご承知の様に卒業は1つの通過ポイントです。4月から、皆さんは各自新しい環境の中で、新人あるいは新入生として歩み始めることとなります。本稿では、そんな皆さんに、これから大切にしたい点、注意して欲しい点を徒然

なるままに書き記したいと思います。

(1) 健康

普段から気を付けないといけないのが健康です。全ての基本で、これがないと何も出来なくなります。特に、学生から社会人になると、忙しさもあって運動する機会が激減します。週単位でいいですので、意識的な運動をするようにして下さい。若くてエネルギーに溢れているからといって何もしないと、中年以降にガクッときますよ。心拍数を上げる運動をすると、頭の回転が良くなるという教育論文もあります。

(2) 食事

言うまでも無く、食事は活動するエネルギーを取得する手段です。朝・昼・夜の食事を質・量の両面で大切にしましょう。忙しさからでしょうか、社会人になると朝食を疎かにしがちになります。可能であれば、朝:昼:夜=3:2:1の割合で食べれると最高です。

(3) 趣味

集中できる趣味を持ちましょう。社会人になると、様々なストレスがあります。ストレスを楽しんで仕事できれば問題ないのですが、別の方法で昇華することも大切です。読書や音楽を聴くなどの受動的な趣味もいいですが、自ら動く能動的な趣味もあるといいですね。

(4) 初めて買う車

社会人になり仕事を始めると、毎月の給料やボーナスなどの給与が貰えます。車も欲しくなりますが、最初あまりに高過ぎる車を買うと後が大変苦しくなります。私が社会人だった時、高専出身の新入社員が入って来ました。田舎だったこともあり、彼は三菱のスポーツカーGTOを450万で購入しました。当初は

とても嬉しそうでしたが、ローンに追われ、その後の昼食はすべてカップラーメンのみで過ごすはめになり、1年後には後悔していました。

(5) 変化

一口に仕事といっても様々です。皆さんが取り組む仕事も多様でしょう。一つの仕事に拘りを持つことは重要ですが、それだけではダメです。自らを成長させるためにも、様々なことに自発的かつ意欲的にチャレンジしてみてください。失敗を恐れる必要はありません。定年までおよそ40年、何が将来の自分に役立つかは誰にも分かりません。

(6) 他人のために

自分に与えられた業務のノルマを達成するのは大変なことですが、それだけに追われてしまって、回りに目が行かなくなることが往々にしてあります。こんな時、同僚や後輩などで仕事に困っている人間に手を差し伸べられるようになりましょう。簡単なことではありませんが、これができる信頼を得ることが出来ます。“信頼”は貴方にとってとても大きな力になりますよ。そして、そんな貴方を上司はきっと視ていることでしょうか。

残りが少なくなってきました。どうしよう、まだまだ言いたいことはあります。簡単に言うと、(7)「力」を付けよ、(8)連帯保証人にはなるな、(9)パチンコするな、(10)貯金せよ、(11)ネットワークビジネスに手を出すな、などなど。これらは卒業式の日に皆さんに話すことにしましょう。

とにかく、卒業おめでとう!

ご卒業おめでとう ございます。"すすめ、自分の道を" 情報工学科 5S担任 嶋田 浩和

卒業生のみなさん「ご卒業おめでとう」
ございます。また、これまで、支えてい
ただいた保護者の方々へお祝い申し上げ
ます。大変お世話になりました。深く感
謝いたします。

4年5年と担任を務めさせていただ
き、足りないことも色々あったかと思
います。そんな中わたくしに色々教えてく
れ、支えてくれたみんなに感謝します。

さてこれから今までの庇護を離れ、環
境を変え、自分たちの道を歩き始める皆
様に、ちょっとだけ人生の先輩として、
今後一緒に社会を支える人間としてお互
いに頑張っていきましょう。

人生について、ヘルマンヘッセは、「自
分の道があるけ、自分で自分を認めよう」
と言っています。いつも自分でなしたこ
と、築き上げたこと、行ったことにつ
いては、自分自身の評価尺度で図りなさい
と述べています。では本当の自分になる
にはどうしたらよいか。かれは、自分の
強みを認め、自分を否定したり、逃げた
りしないことを挙げています。

似たようなことをある高僧が、「おい
あくま」と言っています。「怒らず」「い
ばらず」「あきらめず」「くさらず」「ま
けるな」と言っています。「おこれば、
孤独になる」「威張れば器量が小さくな
る」「焦ればこころの余裕がなくなる」「く
されば前向きでなくなる」「負ければ自
信喪失する」。つまり人生では自分を見
失うと周囲や時間に振り回されることが
多い、これにならないよう自分の道
があるけと言っています。両方の偉人も
似たようなことを言っていると思いま
せんか。いまの自分たちが悩んでいるこ
と同じことを悩み、後世の自分に教え
てくれているように思えました。

今後、自分で新しい世界で生きてい
くと、思い通りにならず、現実を否定し、
過去を責めたり、未来に失望したり、自
分の頭の中で作り上げた妄想に翻弄され
て苦しんでしまうことも多々あります。

また仕事していると忙しいと思うことを
多々あります。「忙しいとは、心をなくす」
とも読めそうです。やっぱり自分を見失
うのです。

あなたたちは、全く新しい世界にでた
とき、きつと同じことを考えることがあ
るでしょう。その時は、みんな同じ道
を通ってきたんだ。また保護者の方の思
いを深く感じると思います。あなた方は、
決して一人で生きてきたわけでなく、ま
た一人で生きているわけでもありませ
ん。一人で考え込まず、心を割って話
せる先輩や友人を見つけてください。ま
た周囲の人に感謝し、自分の道をしっ
かり歩いてください。これが、独り立ち
することだと思います。この後のご活躍
をお祈りいたします。

高専生活を振り返り、今後の自分へ

高専生活を振り返り、今後の自分に
メッセージを各自書いてもらいました。
「相澤 瑠奈：みたか！ストレート卒業し
たぞ！」「穴見 咲愛也：もう一年がん
ばるどん」「荒巻 恵：どこかにいます！遊
びにきてね！」「安東 昂希：人の大切
さを忘れないように」「安藤 稔真：6年
間ありがとう 若干がんばれ」「伊藤 有
汰：頑張るのだ！」「内田 倫太郎：が
んばろう」「大迫 貴：ありがとうござ
いました。」「尾崎 光：5年間楽しかった
です!!」「甲斐 天子：5年間ありがとうご

ざいました。」「門脇 祐斗：5年間あり
がとうございました。」「川上 春希：☆
期限などは守るように頑張る☆」「北村
竜也：5年間お世話になりました」「工
藤 翔太：あ^~高専楽しかったんじゃ^
~」「栗林 健斗：ウェイ系に気を付け
まーす」「後藤 康弘：提出物を期限内に
だす」「此松 颯：5年間たのしかったで
す!!!!」「佐郷 神威：俺はまだ死な
ない」「佐藤 祐大：困ったときはいつ
もおいで」「志賀 啓佑：課金は程々に、
しかし愛は持て」「高森 統也：まったく！
いい人生だった！」「竹石 隆道：早め
の取り組みと計画が大事やで」「竹田 壮
一：留年は悪い経験ではないですよ」「竹
之下 弘樹：nullpointerexce」「中本 敦
子：芋ケンピが欲しい人は言ってね」「波
多野 朝日：羽田に来たらおしえてね！」
「深町 悠貴：5년간 감사합니다. 즐거웠
어.」「堀 大雅：留年は恥だが役に立
つ」「星野 沙紀：さくら、駄菓子屋お
おの、ココストア(T-T)」「前田 涼吾：5年
間楽しい思い出ありがとう！」「増田 花
乃：5年間お世話になりました。;」「宮成
祐輔：寿司職人になります。」「森崎 啓
太：ux.nu/3zvef」「山内 杜夫：みんな
また会いましょう！」「横川 裕大：短い
期間だったが充実していた」「吉賀 なお：
S11もS12も楽しかったです」「吉田 龍
矢：もし会ったらよろしく」「渡邊 理紗
子：子どものままに大人になれ！」



ご卒業おめでとうございます

都市・環境工学科
5C担任 一宮 一夫

卒業おめでとうございます。4月から新しい生活が始まりますが、多感な時期に、5年間ともに過ごした級友は一生の宝物になることと思います。

私も皆さんと同じ大分高専の卒業生ですが、今では級友を兄弟のように感じています。学生時代はそのありがたさを感じる機会は少なかったのですが、年月が立つほど元気であるか、仕事や生活はうまくいっているかなどと気になってきました。時には親身になって相談にものってくれることもあります。若かった頃には想像もつかなかったほど級友の存在が貴重に思われる時期が来るはずです。これからも友達を大切にしてください。

卒業にあたり、皆さんに右の詩をご紹介します。ご存知の方もいると思いますが、2007年の夏の甲子園で優勝した佐賀北高校で有名になった詩です。作者の山本よしき様のご了解を得て掲載させていただきました。仕事や生活でピンチになった時に思い出してください。必ず勇気付けられることでしょう。

何よりも心身ともに健康であることを心よりお祈りします。

ピンチの裏剣
 神様は決して
 ピンチだけとお与えに
 ならない
 ピンチの裏剣に必ず
 ピンチと同じ大きさのチャンスと
 用意して下ろしている
 グチとこぼしたりヤケを起すと
 チャンスを見逃ける目くもり
 ピンチを切り抜けるエネルギー
 さえ失せてしまう
 ピンチはチャンス
 どっしりかまえて
 ピンチの裏剣に用意されてる
 チャンスを見つけよう
 よしき



5年生の球技大会。内田君デザインのショッキングピンクのクラスTシャツが好評でした。バスケットでは勝利に向けて皆で円陣を組んで盛り上げました。



大分川ダムの見学では大型の建設機械に圧倒されました。



東別府駅近くの日豊本線を跨ぐ、跨線橋の建設現場の見学会では、工事見学に加えて、足場組立競争をしました。



黒部ダムでの女性の集合写真です。天候にも恵まれ、絶景をバックにして、ともに華やかな写真が撮れました。



大成建設の技術研究所での記念撮影です。ポーズは大成のインニシャルのT字を表しています。咄嗟の柔軟な発想に若さを感じました

専攻科修了 おめでとう!



専攻科長
佐野 博昭

専攻科修了おめでとうございます。本科5年間の課程に加えて専攻科2年間の課程を無事に修了し、大分高専を巣立つ日を迎えることができました。

ところで、大隅良典先生が「オートファジーの仕組みの解明」により2016年のノーベル生理学・医学賞を受賞しました。大隅先生の紹介記事によれば、「(研究は)失敗や「あれ?」と思うことからスタートするのが大半で、目標設定はすごく難しい。」とのことでした。

皆さんもこれから失敗をしてしまうことがあるでしょう。また、失敗によって目標を失ったりすることもあるかもしれません。しかしながら、その失敗を糧とすることが皆さんを成長へと導いてくれることでしょう。失敗を恐れず、常に前を向いて楽しい人生を歩んでくれることを祈念しています。



機械・環境システム工学専攻主任
尾形 公一郎

皆さんの専攻科修了に対して、心よりお祝い申し上げます。現在は、大分高専で7年間で過ごした達成感が得られていると思います。これからは就職および大学院進学と進み道は異なりますが、新たな進路での皆様の更なるご活躍を期待しています。

さて、新たな環境で過ごす皆様へは「自ら情報発信」、「周囲との積極的な対話」、「明るく前向きな行動」を心がけて欲しいと思います。これらの行動には多くのエネルギーが必要ですが、エネルギーのある人には不思議と陽の作用が生まれます。陽の流れが自然体となれば、皆さんに多くのチャンスが巡ってくるはずです。

これからの長い人生を自らエネルギーを発し、前進して行って下さい。皆さんの実り多い人生を願っています。



電気電子情報工学専攻主任
本田 久平

本科から専攻科に上がり、慣れ親しんだ校舎での勉強・研究とは言え、プロジェクト実験、ディベート試験、合同研究発表会、学位授与申請と、本科とは違ったことも多かったのではないのでしょうか。プロジェクト実験Ⅰでは他学科出身の学生と協力しながら製作した自動水耕栽培装置が校舎内に展示され専攻科生の技術力をアピールできたのではないかと思います。

本年度のES専攻修了生の進路は、就職が6名、大学院への進学が7名となっています。それぞれが積極的に企業説明会や研究室見学に行きしっかりと準備をしていたかと思います。皆さんの進路先でも新たな目標を見つけ準備を怠らずに進んでいって欲しいと思います。皆さんのご多幸とご健勝をお祈りいたします。

特別研究テーマ一覧

【機械・環境システム工学専攻】

○麻生更紗「製鋼スラグを対象とした地球環境負荷低減型対応の緩速炭酸化処理技術の開発」○安倍佑一「摩擦加工したV溝切欠き材の引張圧縮疲労試験評価」○荒金遼河「純V及びV-Fe合金の変形・破壊形態に及ぼす固溶水素濃度、組織及びアンモニア熱分解ガスの影響」○伊藤隆紘「ジオポリマーの白華特性解明のための吸水試験」○岩丸尚輝「結晶粒を超微細化した水素透過金属膜における水素透過性及び耐水素脆性」○江口侑希「振動ホブ切り加工法の開発」○大内洗輝「空気流による噴出法を用いた付着性粉体の流動評価に関する研究」○河津裕也「ハウジングボール系に生じる非線形現象の解析」○菊池麗人「遠心分離機を用いた浸漬試験による多孔質チタンのアパタイト生成に関する研究」○坂井芳樹「好気性細菌と嫌気性細菌の相乗的発酵作用によるRDF火災発生機構の解明」○軸丸淳史「薬剤耐性菌の都市河川における存在実態解明と不活性化技術の開発」○瀧口 直「大気球ゴンドラにおける方位角制御系の特性評価に関する研究」○仲矢直樹「浅水長波方程式に基づく津波遡上問題の予測精度の改善」○西村光司「自然風中における風車構造体への風況変化の影響」○曳汐雅人「凍結防止剤に由来する塩分の不飽和地盤からの除去に関する研究」○日野明日香「傾斜機能材料からなる柱部材の単純圧縮問題の解析」○松尾悠平「廃石膏ボード由来再生石膏を用いた地域性考慮型の地盤表面浸食適応技術の開発」○山下祐弥「ジオポリマーの白華に関する研究」

【電気電子情報工学専攻】

○赤嶺優太「比抵抗・分極率・可充電率を同時に測定できる地下水電気探査装置の送信器の複製品開発」○池邊晶紀「非対称誘電体コア金属シェル構造体の多重極子型プラズモン共鳴」○日下隆浩「マルチコプターによる屋内巡回における環境認識」○佐藤拓哉「レーザ照射およびSVMによる指先接触状態の認識」○杉原勇也「発光細菌を用いた水質汚染の評価の検討」○竹本亮介「非一様な学習頻度と相関構造を持つ記憶パターンを学習した連想記憶モデル」○浜野遼太郎「非線形力学系における3次元分岐構造の視覚化」○原田翔太「TLM法における計算精度向上のためのメッシュ構造の提案」○南 直人「ファジィ推論を用いたマルチエージェントシステムの構成とその人工市場分析への応用」○森山智之「外れ値に頑強なカルマンフィルタを用いた路面中心線の推定」○矢野紘樹「連想記憶モデルにおける並列想起特性と学習順番の関係」○山本 碧「NIRSを用いた前額部脳血流動態による心理状態の識別」○和田佳樹「逆線集中度平均フィルタを用いた石垣模様風画像の作成手法の検討」

退職者及び新任職員挨拶

一般科文系 教授 山田 繁伸



平成2年の4月から今年の3月までの27年間、高専にお世話になりました。高専が進化してゆくなか、専門外の科目を担当させられるようなリストラも受けずに国語科目を定年まで担当することが出来ました。これはひとえに、在校生、卒業生、保護者、教職員、皆様方のお陰様とっております。はっきりとは分かりませんが、何か大きなものの働きもあったのでしょうか。感謝で一杯です。

ある面では厳しく、ある面では緩い高専です。学生は、勉強が仕事ですから、試験でいい点を取ってほしいと思います。教員はとにかく研究業績をあげる必要があります。職員は何か新しい企画を打ち出すとよろしいかと思っています。すべて私に出来なかったことですが、高専で過ごす第一義と思います。

今振り返ってみますと、直接役立つことに首を突っ込み、随分遠回りをしてきたような気がします。辛いこともありましたが、クラス担任やクラブ顧問として、学生と一緒に楽しいひと時を過ごせました。有り難うございました。合掌

学生課課長補佐 吉野 美香



大分大学より平成28年7月1日から3年間の出向で着任しました。大学では、用度、社会連携などあちこちを経験してはおりますが、高専は初めてで、右往左往しながら目の前の仕事をこなすことに手一杯の毎日です。先生方の高専教育に対する熱意と、学生ひとりひとりと真剣に向き合っている姿勢に、大学とは違う責任の重さや大変さを感じております。

趣味と言いますか、若い頃はテニス、バドミントン、ソフトボールなど体を動かすことが大好きでした。今は、スポーツを見ながらビールを飲むのが大好きです！

できの悪かった息子や娘が孫を連れて遊びに来るのが週末の楽しみとなっている年齢ですが、これまでの経験を生かし、何とか少しでも役に立てるように頑張らねばと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

総務課総務係 菊池 正朗



平成28年7月1日付けで総務課総務係に着任しました菊池です。

平成21年4月に本校総務課人事係へ着任し、その後平成25年7月から3年間

大分大学総務部人事課へ出向しておりました。

3年ぶりに大分高専のキャンパスを訪れた際、みなさまに暖かく迎えていただき、たいへんうれしく思いました。

現在はこれまでと違った総務系の仕事で、まだまだ至らないところもありますが、大分高専に少しでも貢献できるよう努力してまいりますのでご指導ご支援のほどよろしく願いいたします。

機械工学科 (技術補佐員)

前田 恵理



平成28年4月より、機械工学科に技術補佐員

として着任致しました前田です。松本先生の研究室にて秘書業務や研究のサポート等をさせていただいております。これまでは、制御機器メーカーにて営業技術SEとして様々な製造現場を渡り歩いて参りました。

着任してからは企業と学校との違いに驚く事も多く戸惑ってばかりでしたが、周囲の皆様のお陰で何とか慣れていくことができました。これまでの経験が松本先生の研究や大分高専の発展、更にはこれから社会へ旅立つ在校生の皆様のお役に立てれば幸いです。

松本先生のお部屋の前に突如現れた謎の空間が、私の席となっております。いつでもお気軽にお越しください。





機 械 工 学 科



区切りとしての「、。□」

機械工学科科長 小西 忠司

ご卒業おめでとうございます。本学科に諸君らが入学して早5年が過ぎ、いよいよ旅立ちの春、区切りの刻です。

日本語では、区切りに句読点「、」や「。」が使われます。祝い事では、切れる、終わる、を避けて空白「」で文章の区切りを工夫することもあります。「入学、卒業、就職。」「入学。卒業。就職。」「入学、卒業、就職」と3種類の区切りで表すと違った印象を受けます。数学的な表現では、「、」は準連続性、「。」は非連続性、「」は連続性でしょうか。

さて、大分高専のモニュメントでも有名なヒルティは“大事な事は・・・もっぱら習慣だということである。教育によって達成すべき目標は、良き傾向性をもった人間である。”^{*1}と記しています。諸君らが5年間の高専生活を通してどのような習慣を得たかを卒業時に考えてみましょう。そして、良い習慣は社会で、連続性「、」をもって行い、悪い習慣を、「。」で断ち切って社会生活を充実したいものです。

さて、ヒルティは、良い習慣について、“消極的に何かを止める事ではなく、つける事”、“恐怖心を持たないこと”、“つまらない財よりすぐれた財を選ぶこと(人生財)”、“我々自身のために習慣的にすべての人を愛すること”、“人から騙されるままになってはいけませんが、他人の善い面から見、善い物が必ずあると決めてかかる”等々が記されています。一つでも実践すると同じ出来事でも結果が変わるでしょう。

昨年12月に、南阿蘇のペンションに宿泊しました。オーナーは、その人生を25年に区切って、学生。塾経営。ペンション経営 ニュージーランド移住と歩んでいました。諸君も社会人としてスタート時に、ライブプランを考えてみてはどうでしょうか。私は、2020年10月で教員30年を迎え、「、。□」を考えています。卒業後に諸君らとの再会を楽しみにしています。

*1 ヒルティ著作集 第1巻、p.141-158(1963)

ブラッシュアップしていこう!

1M担任 池田 昌弘

高専に入学して1年が経過しようとしています。皆さんは今年度振り返ってみていかがでしたか?クラスを見ているとクラスメート皆が以前よりもっと打ち解けてきたように思います。ALHでは前後期に競技会が行われ、またクラスマッチや体育祭でも機械科らしい盛り上がりを見せてくれました。高専祭では中学校の頃とは違う雰囲気、これまた楽しめたかと思います。高専は基本、5年間同じ人員で過ごすこととなりますが、お互いにいい刺激を与えあい、自分自身を高めていって欲しいと思います。それには今年度の反省をして、来年度は改善していけるように努めてください。1つずつ踏みしめて階段を登っていくように意識して、自らをブラッシュアップしていこう!更に輝きみんなの姿を見たい、そう思います。

将来について考えはじめよう

2M担任 軽部 周

入学して丸2年、高専生活にも慣れてきたことと思います。3年生は皆さんにとって自己形成の学年。各々個性を発揮し、勉強に部活に大いに活躍して自信を付けて下さい。一方で3年生は、自分の目指す将来を考える時期でもあります。皆さんが就職先、進学先を決めるポイントは何かでしょうか?

私は個人的に、「自分のしたい仕事ができること」が一番幸せと思います。したい仕事をしている人は輝いています。輝いている人の周りには人が集まり、より楽しく仕事ができるようになります。では、自分を輝かせる仕事にはどうすれば出会えるのでしょうか。それは、自分が何に興味があるかを明らかにすること、世の中にどのような仕事があるか調べることで見つかります。四年生の夏、企業インターンシップの頃には将来の夢を具体的に話せるようになって欲しいですね^^。

「社会に出る」ことについて

3M担任 中野 壽彦

高専での学生生活は後半に入りました。卒業後の進路について考え始めている人、まだ漠然としている人、それぞれだと思います。4年生では企業インターンシップなど、将来について考える機会が沢山あります。焦らず各々のペースで良いので、社会に出るにあたり、自分なりの思想信条を持ってほしいと思います。私は、社会で我々がすべきことの根本は「誰かの役に立つ」ことだと考えています。対価として給料が貰えるから、というのは勿論ですが、「誰かの役に立つ」というのは、人生において、充実感や達成感を得る最善かつ普遍的な手段ではないかと思うのです。皆さんも残りの学生生活で、クラスや部活、友人関係、なんでも良いので自分以外の「誰かの役に立つ」経験を沢山して、その醍醐味を味わって貰えればと思います。

将来に向けて

4M担任 坂本 裕紀

この一年間は どうでしたか?

球技大会や体育祭で大活躍し、研修旅行や高専祭を楽しみ、そしてインターンシップでは企業というものを体験しましたね。様々な行事を経て、充実した一年だったでしょうか?それとも、多くの専門教科に翻弄されるだけで精一杯だったでしょうか?だけでも、これで終わったと思っはいいけませんよ。

5年生になると、もう分かりきっているだろうけど、就職や進学に関する活動が待っています。いや、実際にはもうすでに始まっています。授業の合間や休憩時間でも、色んな先生が企業情報等の話をしてたのを覚えていますか?もう、ボヤボヤとしていられないわけで、これから君たちの行動一つ一つが、君たちの人生に関わってきます。将来に向けて、これからの人生に悔いを残さないよう、しっかりと自分の行き先を見据えて挑んで下さい。勿論、困ったことがあればいつでも相談に来て下さいね。

君たちの戦いはこれからです。



電気電子工学科



プロメテウスの遺物

電気電子工学科科長 佐藤 秀則

ご卒業、ご修了おめでとうございます。入学当時のことを思い出すと当然のことながら、皆様の成長ぶりがまばゆく映ります。体のスケールもだいぶ大きくなりましたが、身に付けたものづくりの力、紙と鉛筆で論理展開していく力、深く考える力、相手を思いやる力、人と交わり協力する力、チームで取り組む力、多少の失敗を笑い飛ばす力などなど、多分中学卒業の頃に比べ、1桁も2桁も増していると想像しています。できれば一人一人に、そのできるようになったものを実感できるように示しつつ、皆さんの努力を讃えたい気持ちでいます。

さて振り返って前途に目をやれば、すぐに来る新たな挑戦に、希望もあれば不安も抱いているのではないのでしょうか。

ここでちょっとギリシャ神話から。

むかしむかし、ギリシャの最高神ゼウスは巨人のプロメテウスに命じて、神と同じ姿をした生き物、人間をつくり、知恵を与えました。このとき人間には火も与えるなどとおいたのですが、プロメテウスは人間を愛してやまず、太陽から盗みだした火を人間に与えてしまいます。これに怒ったゼウスはプロメテウスを殺してしまいます。プロメテウスは弟のエピメテウスに黄金の箱を遺し、これは決して開けてはならないと言い残していました。ゼウスは一計を案じ、この世で一番美しいパンドラを作らせます。それとも知らずエピメテウスはパンドラを自分の妻にしました。パンドラは黄金の箱を見ると再三にわたって懇願し、エピメテウスは兄との約束を破って箱を開けてしまいます。その途端、黄金の箱の中から病気や、盗み、妬み、憎しみ、悪だくみなど、この世のあらゆる悪が人間の世界に飛び出してしまいます。エピメテウスが慌てて箱を閉めると、中から弱々しい声がありました。「私も外へ出してください」、「おまえは誰？」。

「わたしは希望です」

1年間の成長

1E担任 石川 誠司

大分高専に入学し、1年が経とうとしています。各自「成長」できたかを考えてみてください。

勉学・生活態度・精神的タフさ・人への思いやり。日々の生活を過ごしていくうえで、1Eのクラス全員が成長できたのではないかと思います。ただし、成長する幅は個人個人で異なり、勉強で一生懸命時間をかけ成績を伸ばした者、部活にしっかり取り組み、肉体的・精神的に大きく成長した者、友達の輪を広げて社会性を身につけた者と様々な顔を見ることができました。

来年度からは是非その成長を軸に、大分高専に入ったうえで、「自分が何をしたいのか」を見つけてほしいと思います。春休みを利用して、その成長を加速させてください！

2年間を振り返って

2E担任 東木 雅彦

1Eの担任をすることに決まって、「明るいクラスにしたい」というのが一番の目標でした。2年たって…「おい、ちょっと明るすぎるんじゃないか？」と思わないでもないです。

また、覚悟していたのは、「嫌われるだろうなあ」ということ。というのは、担任をするということは責任上どうしても厳しく接しなければいけないことがたくさんあるからです。2年たって…「おい、ちょっと担任を嫌いすぎじゃないか？」とは、思ってはいません。まだまだみんなは子供なんだから、担任の立場なんてわからなくてよろしい。

でもほんとは東木はとっても優しい先生なんだよ。その証拠に最後に、みんなを褒めましょう。2Eの一番の良いところ、これは他の先生にもよく言われるんだけど、「素直さ」だと思います。これは授業をしていて本当によく感じます。この大きな武器があるのだから、このクラスはもっともっと伸びるはず。頑張れ、2E!

征服(制服)から私腹(私服)へ

3E担任 藤本 教寛

あっという間に高専に入って3年間が終わり、来年からはよいよ4年生。名残惜しいことに制服が終わり、私服での学校生活が始まります。しかし、3年生と4年生の違いは、本当に服装の違いだけでしょうか？

皆さんはこれまで3年間でたくさんの単位を取って、学問を征服してきたと思います。しかし、多くはテストで点数を取ることに翻弄され、中々その学問の本質を見極められず、そしてテストが終われば記憶の彼方へ消えていく。そんな事が繰り返されてきたのではないのでしょうか？

4年生となる今、これまで肥やしてきた学問と経験の私腹が試されます。どれだけ知識と知恵と経験を、自分の財として積み重ねてきたのか。社会はそれを求めます。残り少ない高専生活、頑張って社会に出ても恥ずかしくない私腹を積み上げていきましょう！

自ら学べる心構えを

4E担任 山口 貴之

まもなく4年生を終え、高専本科の最後の年度を迎えようとしていることかと思えます。これから皆さんは高専生活の総決算として、人生においてとても大切な選択をすることになるでしょう。ここ数か月での皆さんの頑張りが、人生を大きく左右していくかと思えます。

高専のこの4年間で、日々の学習、実験演習、特活内でのキャリア教育、インターンシップや工場見学、講演会や説明会と多岐に渡る知識を得てきたかと思いますが、将来の進路を決定することにおいて十分なものと問われ、充分であると言える人はいないかと思えます。自身でも人生の判断に足るような情報を自ら得て、就職・進学活動に立ち向かって貰えれば幸いです。



卒業生の皆さまへ

情報工学科科長 霽 浩二

大分高専の卒業生並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。明野の地で皆さんの努力が卒業という形で実を結びました。今年度の情報工学科の卒業生とは、5年前、阿蘇青少年交流の家でのオリエンテーション(一年生研修)と一緒に行きました。あの時、みなさんはまだ入学したばかりで、不安そうな少年少女でした。今ではすっかり成長してたくましくなった姿を見ると、時の着実な流れを感じます。これから、高専に集まった時と同じように一人一人新たな進路に進むこととなりますが、5年前の最初の一步を思い出し、勇気を持って進んで行ってください。

本年度の卒業生は、「情報工学科」となってから、初めての卒業生です。平成24年の学科名変更とともに、情報・プログラミング教育に重心を置いた教育内容になりました。情報科学は驚異的に進歩続けています。人口知能(AI)が世界的に有名な囲碁棋士を破り、自動運転技術も実現が近いと言われていました。AIやアルゴリズムという情報工学の言葉も、多くの人に認知されるようになりました。卒業生の皆さんは、様々な分野に進みますが、どのような業界も、この情報科学の大きな流れの中にあります。皆さんにとっては、挑戦であるとともに大きなチャンスでもあります。臆することなく、思いきって漕ぎ出してください。その時、情報工学科で学んだことが基礎となれば幸いです。でも、忘れてはいけません。進歩の著しい分野では、その流れに乗り遅れないために、自ら学び、新しい方向を見据えて努力を続ける必要があります。卒業は終了でもあり、次の始まりでもあります。ここで得た知識と経験を基に、共に学んだ仲間と助け合いながら、目標に向かって邁進されることを期待しています。

1年生を終えて

1S担任 堀 栄造

昨年4月に入学して1年間が経過しま

した。初めのうちは緊張して沈黙していたクラスのみならず、今では互いの気心も分かり、良識と分別を以て和気藹々とした実に良い雰囲気クラスとなりました。

特活の時間に、一人ずつ教卓の所に立って皆の前で「近況報告」や「ふるさと紹介」を行ってもらおうと、それぞれの個性をにじませながら堂々とスピーチできるようにになり、みんなの爆笑を誘うことも数多くありました。

学業面については、クラス全体に鞭を入れ続けましたが、それによく応えてくれたと思います。

高専の学習内容のレベルの高さを実感した1年間だったと思いますが、それも自己成長のためのハードルだと思い定めて、これからも頑張りましょう。

'Post-truth'の時代に

2S担任 田中 美穂

後期の特活の時間で2回、時事問題を扱いました。テーマはそれぞれアメリカ大統領選挙と相模原事件です。前者では、勝者がいかにメディアをうまく利用したかや、選挙後全米各地でヘイトクライムが頻発していることに触れました。後者では、この事件が社会に何を問いかけているか、また多様性について皆さんに考えてもらいました。

昨年のニュースの中で皆さんが一番関心を持ったのは、やはりアメリカの大統領選挙でした。後者のテーマについても皆さんは真剣に考え、様々な素晴らしい意見を寄せてくれました。

300社の雇用事例を調査してきた専門家の「多様な人材を活用している企業は人を大事にしている。そういう企業は強いし、生き残る」という趣旨の言葉が印象に残りました。やがて社会に旅立つ皆さんはどう思いましたか？

4年生に向けて

3S担任 廣田 雅春

大分高専での第3学年の終わりが近づき、4月からは、第4学年になります。

中学生時代の高専ではない進学校に進んだ同級生の多くは、大学生になります。大分県外に進学する学生も多いと思います。大学への進学を迷っている学生は、4月からしばらくしたら大学がどんなところかを聞いてみると参考になるかもしれません。

4年生では、学外の企業や、大学に協力して頂きインターンシップに参加します。また、9月の終わりには、研修旅行で、企業や大学を訪問します。5年生の4月には、就職活動や、大学進学のため受験が始まっています。それにあわせて、4年生のそれらの行事では、自分の進路の参考にしていただければと思います。

いよいよ進路を決める時期へ

4S担任 プロハースカ ズデネク

4年生になってからあっという間に時間が過ぎてしまい、今年度末が近づいて来ました。夏のインターンシップ、秋の研修旅行等の行事が無事に終わり、これからの最大の課題である進路決定の時期に突入しました。校内のSPI模擬試験、大学の説明会、OB講話といった行事の多さはこうした時期の到来の証です。

4年次科目の試験の終わりと共に、進路に関する活動が一層本格化します。各種企業の就職説明会が予定され、就職希望者には是非こうした行事に積極的に参加してほしいと思っています。また、進学を目指す学生には、早い段階からの勉強を心がけてもらいたいと思います。これからは間違いなく、時間の流れを早く感じるようになります。準備が後手に回り、対応が遅れることがないように、良く計画を立てて活動に取り組んでもらえればと思います。

また、進路決定の主役は自分自身であることをくれぐれも忘れないでほしいと思います。就職の面接を受けるのは自分自身であり、大学や専攻科の試験を受けるのも自分自身です。そのことを念頭に入れ、責任をもって積極的に行動してほしいです。各自が希望どおりの進路に進めるように願っています。



C科 活動目標

都市・環境工学科長 田中 孝典

都市・環境工学科は大分高専の学習・教育目標に沿った、全学年共通と各学年に対する活動目標を掲げて皆さんへの指導を行っていますが、今年一年の皆さんの活動目標の実践はいかがだったでしょうか。

4年生の校外実習先への訪問や5年生の求人関係で、企業等の人事担当の方とお会いする機会がありますが、企業等は、専門知識の修得は勿論ですが、自ら考える力、ディスカッション力、協力して問題を解決する力およびコミュニケーション能力を有する人材を求めています。これらの能力を身に付けるために、今年、同目標を実践出来た方は来年度も継続し、実践出来なかった方は、来年度は実践できるように努力して下さい。

新しい年は、皆さんにとって実り多い、飛躍の年となるように祈念しています。

行動と責任

1C担任 樋口 勇夫

1Cの皆さんが大分高専に入学して最初の1年が終わろうとしています。高専での生活はこれからさらに4年間続きます。この1年間で、特に学習面において自主的な行動が求められていることを感じているものと思います。

同時に自主的な行動選択には責任が伴うことになります。このとき、「行動をしない」ことも一つの行動選択であることを忘れないでください。行事に対しての消極的な行動、学業に対する消極的な行動、ただ何も考えずにこれらの選択をするのではなく、その選択がどのような結果を導くのか、その結果に対して自分がどう責任をとれるのか考えるようにして下さい。

今後の皆さんのさらなる発展を期待します。

2C通信簿

2C担任 工藤 宗治

昨年度に引き続きC科の活動目標について、2Cの通信簿を作成しました。①読書の推進：読書量(冊数)が少なくなりました。モニタだけではなく、ページをめくる習慣をつけましょう。②HRの清掃：身の回りはいつも綺麗にしましょう(自戒も込めて)。③学校行事の積極参加：良く頑張りました。来年度は表彰状get!。④学習時間、継続学習：継続できている人とおろそかにしている人と二極分化が進んでいます。自分の進路の選択肢を増やすためにも行いましょう。⑤英語コミュニケーションについて：来年度から積極的に参加しましょう。⑥クラスの雰囲気：素晴らしいです。このままこのまま。3年生でもこのまま有意義な学生生活を、それに加えて自分の5年後の未来像を思い浮かべながら、今やるべき事をやる日々を過ごして下さい。

来年は準備の年

3C担任 横田 恭平

3年次も残すところ数カ月になりました。満足のいく1年間でしたか?まだまだやり残したことがある1年間でしたか?それぞれの想いがあると思いますが、1年間を振り返り今後に活かして下さい。

4年次は、これまでの学生時代とは異なり、就職に向けて準備をする必要があります。高専に入学する前に、皆さんはどこの学校に行こうか迷ったと思います。就職を失敗しないためにも準備が最も重要となります。準備としては、まずは自分とはどのような人物なのかを知ることです。長所や短所などのほかに、自分が何をしたいか、そしてどのような仕事か自分に合っているのかを知ることです。ここが高専入学前とは異なることかと思えます。4年次は、定期試験も重要

ですが就職に対する準備も必要なることを忘れずに頑張ってください。

決断のとき

4C担任 高見 徹

4Cの皆さん、今年はどうな一年でしたか?3年生までと比べ幾分自由になり、いろいろ活動や活躍の場が広がったのではないのでしょうか。授業は益々高度化し難しくなりましたが、多くの学生が力を入れて勉強に取り組むことができました。部活動や学生会活動ではリーダーや副リーダーとして活躍した学生も多かったことでしょう。普通自動車の運転免許を取った学生も多いと聞いています。夏休みのインターンシップではほとんどの学生が県内外の企業や役所で1~2週間の研修を受けました。海外で語学研修を受けた学生もいます。秋の研修旅行では京都と東京を訪れ、日本を代表する都市の歴史と文化、経済と発展についての見聞を深めることができました。

これからの一年は皆さんの将来を決める重要な一年になるでしょう。今年の経験と知見を踏まえ、自ら進路を決断し、果敢に挑戦することを期待しています。私も皆さんの支援に力を尽くします。何時でも相談ください。



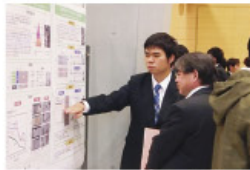


第3回大分高専・大分大学 合同研究発表会開催

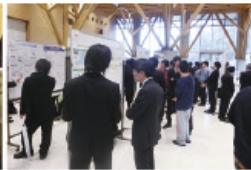
平成28年12月13日(火)に大分大学
旦野原キャンパス学生交流会館B-Forêt
(ピ・フォーレ)で「第3回大分高専・
大分大学合同研究発表会」が開催されま
した。大分高専から31名(本科5年生7

名、専攻科生24名)、大分大学から38
名が参加し、ポスター発表が行われまし
た。大分高専からは古川明德校長、大分
大学からは豊田昌宏工学部長にもご参加
いただき、活発な討議が行われました。
今年から優秀講演者賞の表彰が行われる
ことになり、厳正なる審査の結果、最優
秀講演者賞に安藤 開君、優秀講演者賞

に恒松和輝君、前花拓海君がそれぞれ選
ばれ、写真のように大分大学・豊田昌宏
工学部長より表彰状が手渡されました。
おめでとうございます。来年の第4回合
同研究発表会は大分高専が担当で開催す
ることが決まっています。多くの学生が
積極的に参加してくれることを期待して
います。



発表会の様子



表彰式の様子

●外部発表一覧(平成28年1月から12月までに発表済みのものを掲載)

今年の発表者は以下の通りです。年々学生のプレゼンテーション能力が向上しており、今年は5名の学生が講演者賞を受賞しました。おめでとうございます。※第3回大分高専・大分大学合同研究発表会は第3回合同研究発表会と略しています。

機械・環境システム工学専攻1年 ●安藤 開: 5軸・微細加工技術を駆使した潜像加工への挑戦、精密工学会九州支部主催北九州地方講演会(ベストプレゼンテーション賞受賞)、平成28年12月 ●安藤 開: 潜像加工システムの開発、第3回合同研究発表会(最優秀賞受賞)、平成28年12月 ●大山太郎: 歩行者足首関節周りの加速度による歩道舗装の硬度評価法について、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●御幡侑希: 数値解析による小型ダリウス水車の性能向上に関する研究、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●川野厚樹: 高調波励振を受けるはりの応答、日本機械学会2016年度年次大会、平成28年9月 ●川野厚樹: 高調波重畳型切削工具の開発、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●二宮周平: 5軸マシニングセンタの性能確認用加工試験、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●原田 努: 振動流動化を用いた付着性粉体の供給特性、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●日高純真: 微細粒組織を有するVの機械的性質および耐水素脆性の評価、日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・軽金属学会九州支部共催平成28年度合同学術講演大会(ポスター発表優秀賞受賞)、平成28年6月11日 ●日高純真: 微細粒組織を有するVの機械的性質および耐水素脆性の評価、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●姫野啓太: V系水素分離合金膜の幾何形状が膜強度に及ぼす影響の解析、日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・軽金属学会九州支部共催平成28年度合同学術講演大会、平成28年6月11日 ●姫野啓太: V系水素分離合金膜の幾何形状が膜強度に及ぼす影響の解析、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●藤井 楓: 熊本地震による別府市観光港での液状化発生状況および未利用ボーリングデータを積極的に活用した液状化ハザードマップ作成システムの構築、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●御神本亮太: 外部加熱下における溶融セパレータを起因とする熱暴走によるリチウムイオン電池火災に関する研究、平成28年9月 ●御神本亮太: 外部加熱によるリチウムイオン電池の火災・爆発機構の解明、第3回合同研究発表会、平成28年12月

電気電子情報工学専攻1年 ●内林光俊: スポーツ器具による上腕二頭筋の筋疲労に関する基礎検討、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●岡田和夏: 反事実的感情に関する推論フレームワークの提案、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●小野佑樹: SAR衛星ALOS-2に用いる簡易フレクタの開発、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●河野莉奈: HOG特徴量とSVRを用いた顔特徴点抽出、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●嶋 航輝: DDA法による紫外プラズマモニタの探索、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●田中 徹: 関数型量子プログラミング言語の実装、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●恒松和輝: ティープライニングによるIC画像パッケージング検査システム構築、第3回合同研究発表会(優秀賞受賞)、平成28年12月 ●堀 佑貴: 騒音抑制のためのガラス振動伝搬解析、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●前花拓海: 電気消費量に基づく人間の行動を推定するための基礎研究、第3回合同研究発表会(優秀賞受賞)、平成28年12月 ●吉田悟志: ATR法によるたんぱく質結晶化初期状態の評価、第3回合同研究発表会、平成28年12月

機械・環境システム工学専攻2年 ●麻生更紗: 円筒容器を用いた室内通気実験による製鋼スラグの炭酸化促進工法の開発に関する基礎的研究、平成27年度土木学会西部支部研究発表会講演概要集(優秀講演者賞受賞)、平成28年3月 ●麻生更紗: ガス圧定量法を用いた炭酸カルシウム含有率試験方法に関する一考察、平成28年度土木学会全国大会第71回年次学術講演会講演概要集(優秀講演者賞受賞)、平成28年9月 ●大内洗輝: 空気流による噴出法を用いた付着性粉体の流動評価の研究、日本機械学会2016年度年次大会、平成28年9月14日 ●河津裕也: ハウンシングボール系の非線形特性、日本機械学会2016年度年次大会、平成28年9月13日 ●坂井芳樹: 好気性細菌と嫌気性細菌の相乗的発酵作用によるRDF火災発生機構の解明、日本機械学会2016年度年次大会、平成28年9月12日 ●坂井芳樹: こみ固形燃料における好気性細菌と嫌気性細菌の協同的発酵作用による火災発生機構、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●松尾悠平: 廃石膏ボード由来再生石膏のデシケータ保管時の質量特性、平成27年度土木学会西部支部研究発表会講演概要集、平成28年3月

電気電子情報工学専攻2年 ●佐藤拓哉: レーザ照射およびSVMによる指先接触状態の認識、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●杉原勇也: 発光細菌を用いた水質汚染の評価の検討、第3回合同研究発表会、平成28年12月 ●原田翔太: TLM法における計算精度向上のためのメッシュ構造の提案、第26回九州沖縄地区高専フォーラム、平成28年12月 ●森山智之: 外れ値に頑強なカルマンフィルタを用いた路面中心線の推定、平成28年度第24回電子情報通信学会九州支部学生会講演会、平成28年9月 ●矢野紘樹: 連想記憶モデルにおける並列想起特性と学習順番の関係、第3回合同研究発表会、平成28年12月

各種報告

高専ロボコン2016 (地区大会、全国大会)

今年度の競技課題は「ロボット・ニューフロンティア」。ロボットが箱を選び、箱を積み上げその高さを競う競技です。大分高専は竿を圧縮空気で伸ばし、一瞬で新大陸に橋をかけるロボットで挑みました。

九州沖縄地区大会は10月9日(日)、霧島市牧園アリーナ(鹿児島県)で行われました。大分はA、B両チームとも安定した動きで勝ち進み、大分B「烈覇(れっぱ)」が優勝(初)で全国大会出場、大分A「極雅(きょくが)」がベスト4で技術賞を獲得しました。

全国大会は11月20日(日)に両国国技館(東京)で行われました。1回戦の福島高専にはロボットが転倒するも判定勝ち、2回戦では積んだブロックが3段しか認められず明石高専に敗北しました。その後ワイルドカードで復活し、富山本郷に5段で勝利、優勝候補の奈良高専に6段で勝利しました。決勝は同点再試合で惜しくも香川高松に敗れましたが、大分高専初の全国準優勝に輝きました。

今年は5S門脇部長の強いリーダーシップの下、部員全員が「優勝する」という強い意志を持ち、良い雰囲気の中でロボット製作ができました。応援や募金など、様々な形でご支援下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。来年、ロボコンは30周年を迎えます。これからも大分高専ロボット研究部の応援をよろしくお願いたします。

【全国大会出場メンバー】

佐藤 恵(4E)、廣田尚樹(3S)、池田圭佑(2M)

【ピットクルー】

門脇斗(5S)、池田一貴(4E)、神田敬佑(4E)

高田崇介(3M)、西川剣太(3M)

【ロボット研究部顧問】

岡、軽部、本田、中野、高橋(健)

第53回 九州高専ラグビー大会

11/12(土)1回戦 対都城高専
12-33(前半0-21、後半12-12)敗退
会場：高崎総合公園多目的広場

大分高専は1回戦第2試合で都城高専と対戦し、12-33(前半0-21、後半12-12)で敗れました。

試合内容としては厳しい戦いになり、前半はほとんど都城高専に攻められました。前半の最後のほうは何度かトライをとるチャンスがありましたが、都城の堅いディフェンスに阻まれトライをとることができませんでした。後半は大分高専のペースに持ち込み、2つ続けてトライを取りました。1回は12-21と僅差になり、部員全員で力戦奮闘しましたが最後まで都城高専の攻撃を食い止めることができませんでした。

大分高専ラグビー部は人数がギリギリな上に、高専祭などの学校行事が重なり思うような練習ができませんでした。少ない練習時間や人数でも、一人一人が上達する意識を持って練習してくれたおかげでチームとして強くなりました。4年生以下は今年の悔しさを忘れず、より一層レベルアップし一回戦突破を目標に頑張ってもらいたいです。

(主将 内田倫太郎)

1 眞壁(4M) 8 江良(4M) 15 後藤陽(2C)
2 内田(5S) 9 栗山(1M) 16 矢野(1M)
3 津代(3E) 10 山内(5S) 17 荒巻(5S)マネ
4 堀川(5M) 11 上野(5C) 18 金崎(4M)マネ
5 渋谷(4M) 12 西尾(5E) 19 村上(3C)マネ
6 川合(4M) 13 佐藤(5M) 20 軸丸(A2MC)SA
7 伊藤(3E) 14 後藤将(1C)

全国高等専門学校 第27回 プログラミングコンテスト



電子計算機部は、10/8、9に伊勢市観光文化会館で開催された第27回全国高専プログラミングコンテスト競技部門に参加してきました。今年の競技は、「ホントの魅力がミエますか?」と題して、直線で構成された多角形の木片(ピース)を並べるパズルで、速さと正確さを競うものです。

大分チームは、1回戦ではタイム差で惜しくも敗退したものの、翌日の敗者復活戦でグループ10チーム中4位となり、見事準決勝に進むことになりました。準決勝では、グループ12チーム中、ピース数では2位に並んだのですが、やはり解答時間がかかってしまい、結局、グループ8位という結果に終わりました。

今回のルールは、プログラムを考えるのが非常に難しく、どの高専も、持ち込んだプログラムを使用するよりも、人間がその場でパズルを解いた方が、良い解答が得られてしまうという残念な結果になりました。(プロコンでは、ときどき、このようなことがあります)

今回は、実力を発揮できず、少し心残りでしたが、また来年に向けて、メンバーは決意を新たにしているところです。応援していただいた皆様、ありがとうございました。

● 出場メンバー:

藤澤兼太(4S) 井上朋哉(3S) 油野将大(3S)

● 協力メンバー: 竹石隆道(5S)

第21回西日本地区高等専門学校 駅伝競走大会

山口市きらら博記念公園

【男子駅伝の部】

総合順位 4位(全17チーム)

総合タイム 2時間20分39秒

1区(10km) 染矢大翔(3S)(区間5位:32分44秒)

2区(3km) 栗 誠哉(1S)(区間8位:9分55秒)

3区(8km) 宿野圭佑(2M)(区間4位:26分46秒)

4区(3km) 安東将吾(4C)(区間9位:10分17秒)

5区(8km) 坂本泰都(2E)(区間3位:26分45秒)

6区(5km) 岩田隆正(4M)(区間4位:16分58秒)

7区(5.195km) 竹本亮介(専2)(区間5位:17分15秒)

【3K記録会】

8位 西谷 陸(3M) 9分51秒

17位 櫻本紘之(3C) 10分01秒

46位 吉田圭吾(1E) 10分57秒

51位 小野源太(4S) 11分11秒

駅伝では、昨年を引き続き4位と健闘しましたが、3位とは6秒差ということで選手たちは悔しさをにじませていました。この悔しさにめげず来年以降もこの大会に向けてトレーニングしていきますので、今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いたします。



第10回 全国高専英語 プレゼンテーションコンテスト

1月末に東京で行われた当大会には、本校から九州沖縄地区予選を勝ち抜いた5C吉武愛佳さんがスピーチ部門に出場しました。吉武さんは、自分のこれまでの体験を基に文章を組み立てて厳しい練習を重ねてきました。本大会のスピーチでは、地の部分と会話の部分の的確に使い分け、英語の発音はもとより、身振りや手振り、顔の表情もいろいろと変化させて、さながら落語家が話しているかのように迫真の演技でもって聴衆の気をうまく惹き付けていました。その結果、年々と大会のレベルが上がっていく中、彼女は練習成果を十分に発揮して見事2位入賞を果たしました。

Annual English Presentation Contest for Students in Col



学生会便り

2016 高専祭



高専祭実行委員長

5S
高森 統也

10月29日(土)、第51回高専祭を開催しました。前日までの雨と当日の明け方の強風で天候が心配されましたが、暑いぐらいの晴れとなり、無事に開催することができました。恒例となっている総合研究棟の窓のモザイクアート、屋上から万国旗の装飾が施され、お祭りの雰囲気

がでていたと感じました。
今年の高専祭のテーマは「PRESENT」でした。日頃お世話になっている方々への贈り物となるような楽しい高専祭にしようという思いが込められていました。このテーマの下、学生・教職員一同高専祭を作り上げてきました。今年から Semester制が導入され、準備がなかなかうまくいかず心配していましたが、無事に開催することができました。

ステージ企画では、女装コンテストやパフォーマンス大会、バンドによるライブ、Mr.&Ms.高専、抽選会等が行われました。また、ハロウィンの時期ということもあり今年初めての試みとして仮装大会を行いました。学内、学外ともに参加してくださる方がいて大成功だったのではと思います。なお、今年の抽選会のメインは、湯布院旅館のペア宿泊券でした。

校内では、各クラス・有志による出展店や各文化部による文化展示が行われました。出展店では、定番である焼き鳥やあげばん、チョコバナナ、ポップコーン、焼きそばなどの飲食系の出展、わなげやストラックアウト、お化け屋敷などの遊びの出展が行われました。珍しいものであれば、トルコやイランなどを中心とする中近東で日常的に食されているラバシュというナンに似たものの販売や、

アームロボットによる実演と飲料の販売などが行われました。特に大きなトラブルもなく高専祭を終えることができました。ご協力していただきました皆様本当にありがとうございました。来年度以降もよろしくお願いいたします。

2016 音楽祭



音楽祭実行委員長

5S
森崎 啓太

11/3(木・文化の日)に第50回音楽祭が、ホルトホール大分 大ホールという大きな会場で行われました。

会場では、吹奏楽部・軽音楽部によるステージ演奏、ロボット研究部・美術部・書道部・写真部による作品等展示が行われ、大分高専の関係者のみならず多くの一般の方々に楽しんでいただくことができました。中でもステージ演奏では、両部の特徴を活かした素晴らしい演奏が披露され、最後の曲では、両部のコラボ演奏もみられました。

実行委員は今年の音楽祭に向け数か月前から準備をしてきました。音楽祭の渉外活動、予算管理、大人数のスケジュール調整に始まり、広報として行ったティッシュ配り、大分駅周辺で行われた夢色音楽祭への参加、体育祭、高専祭など、様々な準備を並行して行いました。慣れない仕事も多く、大変なことも少なくなりましたが、最後に吹奏楽部・軽音楽部の達成感あふれる顔を見ることができ、実行委員一同ほっとしました。

Semester制なども重なりスケジュール調整も大変でしたが、これまで音楽祭を運営してきた先輩方の意思を引き継ぎ、記念すべき第50回音楽祭に実行委員長として関わったことを本当に幸せに思います。

そして来年も音楽祭が、今年同様、もしくはそれ以上に多くの方々に愛されるものになることを願っています。

最後に、ご協力くださいました多くの企業の皆様、ホルトホール関係者様、先生方、本校吹奏楽部・軽音楽部および文化展示して下さった各部に、心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。



学生会便り

新学生会長挨拶



会長
4C
麻生 大樹

こんにちは！今年度は副会長を務めていて、来年度は会長を務めることになりました。4年都市・環境工学科の麻生大樹です！

一年間、学生会副会長として高専祭、音楽祭、体育祭の三大祭りを経験して得た反省や改善点を見つめ直し、来年度の三大祭りをより良いものとするためにも会長である自分が先頭となり頑張っていきたいと思います！

高専で行う行事は主に学生会が担当しています。新入生オリエンテーションや三大祭り等、楽しい行事が多いです！

高専祭では「Mr.Ms.高専」や「ライブ」、「女装コンテスト」等老若男女問わず、盛り上がる行事がたくさんあります！

また、音楽祭は高専祭に比べ来場者は少ないですが、吹奏楽部と軽音楽部による素晴らしい演奏や、司会者による絶妙な会話を交えながら進行も見所です！

高専祭、音楽祭共に大変素晴らしい行事ですので是非足を運んでください。

三大祭以外にも季節のイベントとしてクリスマス会やバレンタイン会、七夕会等の企画も予定しています。

一年間学生会長として、大分高専の顔として、責任を持って精進してまいりますのでよろしくお願いします。

新副会長挨拶



副会長
3S
小野 圭以吾

この度、新しく大分高専の学生会副会長になりました、3年情報工学科の小野圭以吾です！

私は今まで様々な行事に参加し、その行事は学生会の方々の働きによって成り立っていると感じました。そしてその学生会の方々の働きにあこがれを抱き、またその仕事に携わりたいと思い、副会長になりました。

私が三年間この学校で過ごしてきて、大分高専の魅力は学生の皆さんの元気の良さにあると感じました。そして学生の皆さんの元気を引き出すためには、学生会の運営をきちんとこなさなければなりません。「体育祭」「高専祭」「音楽祭」などといった大分高専の三大祭や、その他の行事で学生の皆さんが持ち前の元気を十二分に発揮できるように、学生会の運営をしっかり頑張らせていただきます！

まだどのような仕事があるのか把握しておらず、不安もありますが精一杯務めさせていただきます。

学生の皆さん、私たちと共にこの大分高専を盛り上げていきましょう！一年間よろしくお願いします！



寮生会便り

旧寮生会長挨拶



情報工学科 5年
北村 竜也

寮生会長になり早くも1年が経ってしまいました。私が寮生会役員として過ごした2年は想像以上に早く、ほかの役員や寮生に迷惑をかけたと思いますが、とても楽しい毎日でした。

今年行った活動としては寮の先生方とのミーティングを月に1回開き、先生と生徒間での連携を強めようと努力しました。寮生の疑問や寮の改善点などを積極的に先生方と議論し、改善された点もいくつかありました。あたらしい寮生会は後任の平井君を中心としてよく纏まっているので、より良い明野寮にすることが出来ると思います。

寮で行った企画や活動などは、寮生会みんなが自分の仕事を把握し、自ら考えて行動してくれたので最後まで無事にやり遂げることが出来ました。このように私は皆さんの支えなしでは寮生会長という役割をこなすことはできなかったと思います。この素晴らしい経験は、私を人間として一回りも二回りも大きく成長させてくれました。

あと1か月もすれば高専を卒業します。寮生会で得た経験と寮生活で5年間共に過ごした仲間との思い出を胸に、立派な社会人になれるよう日々精進していきたいと思っています。最後に先生方や寮生会、寮生にはたくさんのご迷惑をおかけしましたが、一生思い出に残る寮生活を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

新寮生会長挨拶



情報工学科 4年
平井 雅人

新しく寮生会長になりました。

突然ですが皆さん、今現在世界情勢が大きく揺れ動いていることはご存知でしょうか。イギリスのEU離脱、韓国大統領の辞任表明など、時代は大きな転換期に入っています。

この激動の時代、並の人間では到底生き抜くことなどできません。生き抜くにはその為の“術”を身につけなければならないのです。もちろんそれは簡単な事ではありません。ですが私は、大分高専明野寮のみなにこの術を身につけてほしいと強く思っています。なぜなら、今この時代を動かすのは我々寮生だからです。

ではその“術”とは一体何でしょうか。ひとつだけヒントを差し上げましょう。なんとその術とは、日々の寮生活に隠されています。

日々の寮生活を見直し、礼儀やマナーを守っていれば自然とその術は身につくものなのです。先輩や先生にきちんと挨拶はできていますか？夜遅くまで騒いだり、他の人に迷惑がかかるようなことはしていませんか？些細なことかもしれませんが、小さなことができない人に大きなことは絶対にできません。いずれ寮生皆がこの術に気付きそれを身につけ、共に時代を動かす日が来ることを私は切に願っています。

最後に、前寮生会長 北村竜也さんをはじめとした前寮生会のみなさん、本当にお疲れ様でした。みなさんのような立派な先輩になれるよう私たちも精進してまいります。ありがとうございました。

新副寮生会長



機械工学科 3年
和才 蓮

新しく副寮生会長になりました3年機械工学科の和才蓮です。わさいと読みます。

今はまだ寮生会に入ったばかりで分からないことが多いのですが、寮生会長の平井さんをはじめとした先輩方を見習って、寮生会を積極的にサポートしていきたいと思っています。

また、寮生会に入ったということで、自分が寮生のみなさんを指導する立場になりました。とはいえ、私自身の寮での生活態度もとても褒められたものではありません。そこで、まずは自分の生活態度を見直し、改めていく必要があると思っています。副寮生会長としての自覚を持ち、模範となる行動をとることが今の私自身の目標です。

寮生活には様々な規則があり、不自由に感じる人もいます。ですが、たくさんの先輩や同級生、後輩と集団生活をする中で、家ではなかなか経験することのできないことを学べるのが寮生活の素晴らしい点です。みんなの寮生活をより楽しく、充実したものにできるよう副寮生会長としての責務を果たしたいと思っています。

自分にこの仕事を今後やっていけるかどうか不安に思うこともありますが、精一杯頑張ってまいります。寮生のみなさん、薬師寺先生、これからよろしくお願ひします。

留学生通信

今年度は、カンボジアから新留学生のウン・ノオンリー君を3Cに迎え、総勢3名の皆さんが本校で勉学に励んでいます。みななどとも仲が良く、お互いに協力しあいながら日本での生活を営んでいます。さて、以下の作文は、マレーシア出身のハイファーさん(5M)が大分市で開かれた「OITA学生提言フェスター：留学生による日本語スピーチコンテスト」で発表した時の原稿です。彼女の母親を思う演説にみんな心を打たれました。是非お読みいただければと思います。

また、右下の写真は、昨年12月に実施した留学生研修旅行時のものです。今回は京都方面へ研修に出かけました。

「母の愛」

5M ハイファー・シャファワティ

みなさん、こんにちは。私は2年前にマレーシアから来ました。私はイスラム教徒です。今日はお母さんの愛について話したいと思います。私は13歳の時から親と離れて生活していて、日本に来たからは、さらに母の存在、母のありがたさについて深く感じるようになりました。みなさんは、お母さんを大切にしていますか？

お母さんはお腹の中に赤ちゃんがいる9か月の間、体が重くて、背中や腰の痛みなどであまりよく眠れないし、大変です。そして、いよいよお母さんのお腹がすごく痛くなって、お父さんが急いでお母さんを病院に連れて行きます。病院ではお父さんがずっとお母さんのそばにいて、お母さんをサポートしています。お父さんはお母さんを心配するのと同時にワクワクしています。何時間かお母さんが命がけて戦った後、ついに赤ちゃんの声が聞こえるのです。「おぎゃあ、おぎゃあ」。赤ちゃんが生まれます。赤ちゃんの顔はかわいいです。その時、世界で一番喜んでいる人は、お母さんとお父さんです。

日本の多くの人は、赤ちゃんから子供になり、大人になるといい会社で働いて、結婚をすると親と離れて奥さんと自分の家に住みます。働き始めたばかりの時は毎週、毎月、親に会いに行くのに、だんだん親に会いに行かなくなります。その上、親を老人ホームに入れていたりします。どうして？親はもう要りませんか？毎月親にお金をあげるだけでもう十分で

すか？子供がよい人間になるように、親は子供に小さい頃から色々なことを教えてあげました。親は一生懸命働いて子供が学校に行けるようになりました。親の犠牲をもう忘れるのでしょうか？あなたはどうですか？

あなたが幼い頃、誰があなたをきれいにして服を着せましたか？そしてあなたが病気になった時、誰があなたを抱きしめて徹夜しましたか？もちろん、あなたの親です。また、あなたが転んで泣いた時、あなたの涙を拭いてくれた人は誰ですか？全部あなたの親がやってくれました。他にしてくれる人はいません。

もう忘れてしまいましたか？あなたを生むためにお母さんは自分の命を危険な目に合わせました。あなたに苦しい生活をさせないように、お父さんとお母さんは一生懸命あなたを育てました。親は、あなたがどんな時でも、いつもあなたのそばにいます。ですから、親の愛と犠牲をちゃんと思い出してください。あなたの親の愛に替わるものはありません。

いつか、あなたも子供をもつでしょう。もしあなたの子供があなたと同様のことをしたら、あなたはどう感じますか？よく考えてください。親はあなたのお金が欲しくありません。親が一番欲しいものは、あなたの愛です。親が生きているうちに親と一緒に過ごして、あなたの愛を親に伝えてください。親が亡くなってから後悔しても遅いです。ですから、みなさん、親を愛しましょう。

最後に、母の愛について書かれたコーランの一部を紹介します。コーランには「主よ、幼い頃、あなたが私を愛して育ててくれたように、私の両親にもご慈悲

を授けてください。」という言葉があります。これで終わります。ご清聴ありがとうございました。

〈留学生研修旅行記念写真〉



(「さんふらわあ」にて)



(金閣寺にて)



(清水寺にて)



(嵐山にて)

平成28年度 学科別進路状況

平成29年1月20日現在

Table with 6 columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (機械, 電気, 情報, 都市), 計. Lists 33 entries for various companies and institutions.

Table with 6 columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (機械, 電気, 情報, 都市), 計. Lists 34 entries for various companies and institutions.

Table with 6 columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (機械, 電気, 情報, 都市), 計. Lists 16 entries for various companies and institutions, including a summary row for graduates and students.

平成28年度 専攻科進路状況

平成29年1月20日現在

第13期:平成28年度(2016年) 修了予定者(31人) 佐野専攻科長

Table with 2 columns: 機械・環境システム工学専攻(18人) and 電気電子情報工学専攻(13人). Lists specific graduate programs and associated institutions.